

事務事業評価 事業説明資料

# 新たな広域的コミュニティ活動支援

---

民生部 まちづくり支援課

# 広域コミュニティとは？

- 人口減少による町内会・各種団体の担い手不足・コミュニティ活動の停滞
- 超高齢化による一人暮らし高齢世帯の増
- 長寿化による退職後の生きがいづくり



行政だけでは解決できない課題が増えてきている！



## 地域の暮らしを支える⇒【地域づくり】

- 自己完結することの限界「自分達(町内会)だけで・・・」
- 連携・協働の時代へ「何かの時には、よその団体、よその町内会と」

### 広域コミュニティのイメージ「補完性の原則」



# 広域コミュニティへの取り組み

- **地域づくり座談会の開催**

広域コミュニティ活動への理解

地域で話し合うことの大切さ（地域の課題の話し合い）

広域コミュニティ組織化への機運を高める

地域自らが動き出すことを期待

- **地域づくり人材育成講座の開催**

住民自らが話し合い、行動する場づくりをコーディネートする人材（ファシリテーター）の育成

# 地域づくり座談会（その1）

- **講師:**高崎経済大学 地域政策学部 教授 櫻井 常矢 氏
- **ファシリテーター:**NPO法人スマイルラボ
- **平成29年度に実施した地区:**
  - 藤坂小学校区（2回）・西小学校区（2回）・  
松陽小学校区（1回）
- **参加者:**
  - 町内会、消防団、婦人防火クラブ、民生委員、自主防災会、老人クラブ、保健協力員、食生活改善推進員、青少年健全育成協議会、交通安全母の会、赤十字奉仕団、子ども会、地域保全会、文化財保存会、防犯協会、小学校、小学校PTA他

# 地域づくり座談会（その2）



## 第1回話し合いのテーマ

- ①地域の良いところ・地域にある努力
- ②地域の暮らしを見渡して気になること・改善したい事
- ③それらはどこで取り組むのがいいか？  
小学校区／他の町内会・他団体



## 第2回話し合いのテーマ

- ①小学校区、他の町内会と取り組んだらいいこと
- ②なぜそう思ったのか？広域で取り組むことの良い点
- ③広域コミュニティで取り組む場合、想定される課題は？どんな準備が必要か？



# 地域づくり人材育成講座

- **講師:** 高崎経済大学 地域政策学部 教授 櫻井 常矢 氏  
いちのせき市民活動センター長 小野寺 浩樹 氏
- **受講者:** 32名
- **修了者:** 22名 (全5回中4回受講者)
- **講座内容**

## 1 櫻井氏担当

ひとを育む地域づくりを進めるために  
～地域コーディネーターの役割を描く～  
～実践形式で学ぶ・コーディネート術～

## 2 小野寺氏担当

地域づくりとファシリテーション  
～ファシリテーターとは～  
～ファシリテーターの仕事～  
～地域の会議で使える鉄板ネタ～



# 広域コミュニティ活動支援の成果

## ● 広域コミュニティ組織の設立

平成28年度に地域づくり座談会を開催した法奥小学校区にて、「法奥コミュニティ推進協議会」が設立



法奥コミュニティ推進協議会  
H29.7.25 組織化

事務局支援補助金として500千円交付

法奥コミュニティだより 平成29年12月1日 第1号

### 法奥コミュニティ推進協議会が設立されました

**★法奥コミュニティ推進協議会とは？**  
法奥小学校区に住む皆さんが、今後も安心してこの地域に住み続けるため、地域の事を話し合い、活動につなげる目的で設立されました。

**★町内会と何が違うの？**  
町内会だけでは解決できない課題について、協議会で連携して取り組むことが可能です。例：地域運動会や伝言板の継承活動など

**★会員は？**  
法奥小学校区に住む方全員が、会員です。

**会長あいさつ**  
法奥コミュニティ推進協議会は、平成26年度市のまちづくり委員を通じ、県の安全・安心モデル事業に取り組みことから始まりました。  
主な活動として「地域の安全は地域で守る」を合言葉に、毎月1日を安全・安心パトロールの日に定めて、各町内会単位でパトロールに取り組んでいます。  
また昨年度は元気な！札田づくり市民活動支援事業を活用し、張り込め詐欺等を未然に防ぐために相談できる電話番号を知っていただくためにアイデアを出し合い、訪問販売お断りの札と両面に表示したものを作成し、各世帯に配布しました。  
しかし、これまで防犯・交通安全活動等を主な取り組みとして活動していく中で、地域の人口減少や高齢者の増加により地域での見守りや環境維持など、住みよい地域を作っていく地域力が弱くなってきている現状を感じていました。  
そんな中、昨年度12月と1月に市で実施していただいた「地域づくり座談会」にて、今後地域で何かも対応しなければならぬ人口減少は進み、今の生活は維持できず、今の若い世代が今後住みにくくなるのが予想されることから、若い世代が今からできることに取り組んでいく必要を感じました。

私が会長の座右です！

# 今後の方向性

地域自らが立ち上がり、動き出すことを期待して継続した支援を行っていく

## ■ 広域コミュニティ組織化に向けての支援

- 地域づくり座談会を開催した地域へ出向いての組織化に向けての働きかけ
- 組織化に向けた話し合い、会議等の支援

## ■ 広域コミュニティ組織化後の支援

- 事務局経費に対する支援（補助上限額500千円）
- 課題解決活動に対する支援（補助上限額300千円）
- 組織運営の支援  
（部会・役員会・総会への参加、先進事例等の情報提供）